

令和6年度
学校評価報告書



久万高原町立柳谷幼稚園
久万高原町立柳谷小学校

<p>【設問2】柳谷小学校公式サイト（ホームページ）をどの程度見ていますか？ ア～カの中から一つを選択して○を付けてください。</p> <p>ア ほぼ毎日 イ 週2～3回程度 ウ 週1回程度</p> <p>エ 月1～2回程度 オ ほとんど見ない カ 見たことがない</p>
<p>【設問3】本校に対して、よいと思われることがありましたらお書きください。</p>
<p>【設問4】学校教育をよりよいものにするためのご意見がありましたらお書きください。</p>
<p>【設問5】その他、お気付きのことや感想等がありましたらお書きください。</p>

4 結果について

(1) 【設問1】の考察

- 全ての項目で、児童、保護者・地域、教職員ともに、「よくあてはまる」「おおむねあてはまる」と評価されており、学校全体が良好な状況にあると評価してもらえている。
- 学校関係者・保護者からの評価で特に高かったのは、「1 子ども：楽しい学校」「6 仲良くする」「9 教師：明るく元気」「17 特色ある教育活動」「19 幼・小との連携」の項目である。これらの項目では、全員が最高評価の4をつけてくださった。令和5年度の1年間の休校から再開したことにより、様々な学校行事において保護者や地域の方々に協力していただいたこと、学習の様子を見ていただく機会を多く取り入れたことがこの結果に反映していると考ええる。
- 教職員からの評価では、「5 よく遊ぶ」「13 子ども理解と愛情」「14 適切な厳しい指導」「15 公正・公平な評価」の項目が高かった。これは、今年度の教育重点目標の中に特別支援教育の取組を設定し、子どもの実態に応じた丁寧な関りや教職員全員で関わることを実践した結果であると考ええる。休み時間には、可能な範囲で児童と教職員全員が体育館や運動場で遊んだり、職員会や終礼の中で児童のことを話し合う時間を取って共通理解を図ったりしたことがよかったと考ええる。
課題としては、「3 家庭学習の習慣」の項目において、全員が「あまりあてはまらない」と評価をしていた。学習の定着に十分な成果が得られず、宿題による家庭学習にも力を入れて指導をしていたが、それもなかなか定着が図られなかった。今後は、1回1回の授業を充実させるとともに、なぜ宿題をしなければならないのか、何のために家庭学習をするのかを教職員全員が共通理解を図り、子どもが自分のためになることを意識しながら行えるように指導をしていく必要があると考ええる。
- 児童の評価では、「5 よく遊ぶ」「6 仲良くする」「10 熱意と分かる授業」が高かった。異学年の少人数であるため、男女関係なく常に全員で休み時間は遊んでいることが、この評価につながったのだと思われる。また、教員は、普段から教材

研究や授業の準備等を熱心に行い、子どもに分かる・考える授業を心掛けて日々取り組んでいることがこのような評価につながったのだと考えられる。この評価を糧として、今後も継続して子どもが分かる楽しい授業を行っていききたい。

(2) 【設問2】柳谷小学校公式サイト（ホームページ）の閲覧状況

	保護者・地域	教職員	児童
ア ほぼ毎日	0%	33%	0%
イ 週2、3回くらい	0%	33%	0%
ウ 週1回くらい	20%	17%	0%
エ 月1、2回くらい	80%	17%	0%
オ ほとんど見ない	0%	0%	67%
カ 見たことがない	0%	0%	33%

今年度は、ほぼ毎日ホームページを更新し、教育活動や園児・児童の様子を発信してきた。学校のホームページのアクセスカウンター数は、平均して50前後となっているが、保護者や地域の方々の閲覧状況がまだ十分ではないため、引き続き啓発を図っていく必要がある。教職員については、「月に1、2回くらい」が17%という結果を課題として受け止め、学校の実践・取組を保護者や地域に情報発信する大切な媒体であることを教職員全員で共通理解を図りたいと考える。

(3) 【設問3】よいと思われることに対する意見

（保護者・地域）

- 学年や男女関係なくみんな仲良しでうれしく思う。
- 自然の中でのびのびと育っていると思う。
- 学習については、個々に目が届くので良いと思う。
- 子どもの人数が少ない分、よりきめ細かい指導ができていないかと思う。
- 子どものことを考えて、学校生活が楽しく送れるよう先生方が様々な工夫をしていただいているようで大変ありがたい。
- 地域との関りを積極的に取り入れており、うれしく思う。
- 子どもたちが元気で生き生きと学校に通っている姿が何よりうれしい。これからも続いてほしい。

（教職員）

- 子どもの遊びにたくさんの先生が関わっており、その時間は子どもたちの楽しみになっている。子どもの様子をきちんと見取り、社会性を育むよい機会となっている。
- 先生方と話し合い、児童、教職員の負担をできるだけ増やさないようにしながら、何が子どもたちのためになるかを考え、実践できていると思う。
- 職員室にいらっしゃる先生方がいろんな面で支えてくださっている。こまごました仕事や代教、体育科授業と一緒にプレーしてくださるなど、非常にありがたく思っている。

- 個に応じた支援がしやすい
- 職員室が話しやすい雰囲気であり、困ったときや悩んだ時にも気軽に相談することができ、みんなが協力的である。
- 先生方が丁寧に児童・保護者と関わり、関係を持っている。
- 全教職員で児童を見守り、指導していることがよい。

(4) 【設問4】学校教育をよりよいものにするための意見

(保護者・地域)

- 学校周辺で児童クラブが発足し、18時まで子どもを預かってもらえると、共働き家庭にとっては大変助かると思う。柳谷小学校でも、放課後子ども教室を発足させることで、保護者のニーズに応えられるのではないかと。さらに、長期の休み（夏休み等）をどうするか対策を考えるが必要である。
- 交流学习などでも子どもたちは表現する機会があると思うが、日頃の授業などでは難しい面もあると思う。先生方が工夫しているのが伝わってくるので、このまま頑張っていたきたい。

(教職員)

- 校時表を工夫して、5校時の前に休める時間をとりたい。その時間に、休憩をとらせることも一つの手かなと思っている。
- 小人数であるからこそ、より丁寧に優しく指導できると思うが、大人を通してのコミュニケーションを取っていることが多い。子ども対子どもで会話ができるように対面やオンラインの交流を増やすこと、そのためには、先生方の業務を少しでも少なくできるようにしたい。

5 まとめ

今年度は、令和5年度1年間の休校明けからのスタートで、赴任してきた教員全員が柳谷小学校を始めてということもあり、手探り状態でありながらも教職員が一丸となって突き進んだ1年間であったように感じる。児童と教職員が常に寄り添って教育活動を展開している様子を見て、保護者や地域の方々が温かく手を差し伸べてくださり、アマゴのつかみ取り、カブトムシの養殖の見学など地域の特色を生かして、柳谷でしか行えない教育活動を体験することができ、とてもありがたく感じている。

また、職員会議や終礼のときには必ず、ケース会議のように児童のことについて「一人一人の現在の様子」「児童が困っていること」「できるようになったこと」「有効な支援」等を話し合うようにしている。少人数の学校だからできることではあるが、わずか5～10分程度の時間で全員が共通理解を図り、同じ目標を持って支援にあたることができる貴重な時間である。今後も引き続き取り組んでいきたい。

今回のアンケートにより、学校行事やPTA活動で幼小や地域との連携が図られ、保護者同士、教職員・保護者間、そして学校と地域とで良好な関係が構築されていることが確認できた。今後も、「へき地」「少人数」の利点を生かして、活動を工夫しながら「柳谷だからできる教育」「柳谷でしかできない教育」を目指して、本校の教育目標である『ふるさとを思い、心豊かにたくましく生き抜く児童の育成』に努めていきたい。